

## 埼玉大学教育学部附属中学校

日程: 2020年10月27日(火)  
時間: 授業 4時間目(11:40~12:30)  
協議 12:40~13:10

会場: 授業 多目的教室  
協議 多目的教室準備室

対象: 2年C組 35名

講師: 安原 輝彦 先生  
埼玉大学教育学部 教育実践総合センター  
教職大学院 教授



### 【本時のねらい】

瀬戸内地域の特色を、造船業を通して理解する。

#### ●学習課題

「どうして瀬戸内地域に造船所が集中して発展してきたのだろうか？」

<四つの観点からのグループワーク>

- ①日本の造船業はどのような状況にあるか？
- ②瀬戸内地域に造船所が集中した歴史的要因はあるか？
- ③瀬戸内地域に造船所が集中した地理的要因はあるか？
- ④中国四国地方の農林水産業や工業との関係はあるか？

中学校地理的分野 学習指導案

「中国・四国地方の人々の営み:日本や世界の海運を支える瀬戸内地域の造船業」

(次ページ以降に掲載)

## 埼玉大学教育学部附属中学校

### 中学校地理的分野 学習指導案

#### 「中国・四国地方の人々の営み:日本や世界の海運を支える瀬戸内地域の造船業」

1/3

| 過程         | ○学習課題・活動<br>・学習内容  | ◎資料例 ◆指導上の留意点   |
|------------|--|---|
| 導入<br>5分   | <p>○ 中国四国地方の工業について、小学校の学習やこれまでに接した情報などから特色やイメージを<br/>発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国四国地方では特に、瀬戸内地域の広い範囲に工業の場所がある。</li> <li>・人口が集中している瀬戸内地域で工業が盛んである。</li> <li>・瀬戸内地域の工業では石油化学コンビナートが多いことを小学校で学んだ。</li> <li>・瀬戸内海を行き来する船や海運が工業を支えているイメージがある。</li> </ul> <p>* (復習) 小学校で学習した瀬戸内地域で石油化学コンビナートが盛んになった理由は？</p> <p>○ 石油化学コンビナートの発展とともに、以前から瀬戸内地域で発展し、現在も世界的に一定の生産<br/>量をあげている工業が瀬戸内地域に集まっています。どんな工業か予想してください。</p> <p>* 「国内造船所の地域分布」(日本全国に記された点●だけの地図)を提示して、●の箇所はどんな<br/>モノ(工業製品)が作られているか予想してみる</p> | <p>◎小学校の教科書ページなど(石油化学コンビナート)</p> <p>◎石油化学コンビナートの全国の分布図</p> <p>◎全国の各工業地帯・地域の各種製品生産額比率</p> <p>◆ 瀬戸内地域の自然、地形のイメージをベースに小学<br/>校での学習を喚起させる程度に。</p> <p>◎日本主要造船所の分布[3-1]</p> <p>◆海運への意識喚起</p>  |
| 展<br><br>開 | <p>○DVDの視聴「暮らしを支える日本の海運」を視聴ビデオ視聴</p> <p>学習課題 どうして瀬戸内地域に造船所が集中して発展してきたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国内造船所の地域分布」で国内の造船所を確認</li> <li>・国内の造船所は瀬戸内地域と西九州地域に集中している。</li> </ul> <p>【グループ活動】 ①10分 ②15分</p> <p>① 4~5人でのグループ(8グループA~H班:同じテーマで2つのグループ)を編成し、各グ<br/>ループで(1)から(4)の課題を担当する者を決める。(1人1課題5人グループの場合は<br/>2人が同じ課題になるが各自で課題を追究する)</p> <p>② 担当した各自の課題について資料を参考に学んだことをグループ内で学び合いながらワー<br/>クシートにまとめる。</p>  | <p>◎DVDダイジェスト版 約6分</p> <p>◎日本主要造船所の分布[3-1]</p> <p>◆ コロナ感染に配慮してグループの配置を考える</p> <p>◆ (1)~(4)をグループ内で分担。ヒントを中心に考える</p> <p>◆造船業から瀬戸内地域の特色について考えさせる</p> <p>◎造船業の現状(国土交通省)[3-2]</p> <p>◎世界の造船業の概況[3-3]</p> <p>◎造船企業別竣工量ランキング(2014年)[3-4]</p> <p>◎「海的路」HPより</p> <p>◎瀬戸内海航路の歴史的な変遷</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>○ 資料を参考に①各自が担当した各課題を追究、②追究した各自の課題についてグループで学び合い、ワークシートにまとめる。</p> <p>(1) 日本の造船業はどのような状況(国内・国外)にあるのだろうか?<br/>         ・(ヒント)世界の建造船の竣工推移や造船業の現状(日本とライバル国の推移)は?<br/>         ・(ヒント)造船業の特色や課題、雇用状況(造船業での関連産業や造船業で働く人たちの状況)</p> <p>(2) 瀬戸内地域に造船所が集中した歴史的要因はあるのだろうか?<br/>         ・古代～江戸時代の瀬戸内海航路<br/>         (ヒント)瀬戸内海を航行していた各時代の特色を示す船や航路は何?<br/>         ・江戸末期・明治時代～第2次大戦の造船の歴史<br/>         (ヒント)日本の近代化で工業の発達に造船が貢献したといわれるのはなぜ?<br/>         ・第2次大戦後～現在の造船業の発達<br/>         (ヒント)日本の造船業が世界1位になったのはいつ頃でその理由は?</p> <p>(3) 瀬戸内地域に造船所が集中した地理的要因はあるのだろうか?<br/>         (ヒント)造船所はどのような場所に作られるのだろうか?<br/>         (ヒント)造船に必要な原料や材料、そして機械や設備にはどんなものがあるか?</p> <p>(4) 中国・四国地方の農林水産業や他の工業との関係はあるのだろうか?<br/>         ・(ヒント)中国・四国から全国や国外へ出荷する農林水産物や工業製品で、海上輸送の方が陸上や航空を使うよりも有利な産物、製品にはどんなものがあるか?<br/>         ・(ヒント)石油化学コンビナートの発達と造船業の発達にはどんな関係があるだろうか?</p> <p>(例)<br/>         (1) 造船業の現況<br/>         ・日本の造船業は世界的に重要な位置を占めているが、中国、韓国との厳しい競争がある。<br/>         ・造船業は機械や鉄鋼、化学、情報など多くの関連した産業が集まる工業である。造船業が盛んなれば地域の産業全体も活発化するが、逆に衰退すれば、他の産業も衰退してしまう。<br/>         ・人件費の高騰から日本でのモノづくりが海外に移転していく傾向は造船にもみられる。<br/>         ・造船会社の合併や海外との共同生産などで生産を維持しようと頑張っている。</p> | <p>遣唐使船、勘合貿易、村上水軍、朱印船、朝鮮使節<br/>         ◎明治時代以降の海運の発展史</p> <p>◎日本造船業の概要<br/>         (海の仕事.com)<br/> <a href="http://www.uminoshigoto.com/make/shipbuilding_industry_diti.html">http://www.uminoshigoto.com/make/shipbuilding_industry_diti.html</a></p> <p>◎瀬戸内地域の港湾面積や瀬戸内海の潮流<br/>         ◎瀬戸内地域の港湾の整備 他 [3-5]</p> <p>◎都道府県別農産物産出額(中国四国)<br/>         ◎中国四国の農産物 水産物 工業製品</p> <p>◆ワークシートでの振り返りと学び合いを促す</p> <p>◆各グループの進行状況を確認しながら机間巡視</p> <p>(1) 海洋国家日本にとって、海上交通の重要性と海上交通を支える造船業の役割を意識させたい。</p> |
|---|--|

## 埼玉大学教育学部附属中学校

3/3

|                    |  |  |
|--------------------|--|--|
|                    | <p>(2) 歴史的要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昔から海運業が発達。いくつもの航路として栄えた<br/>(古代 平安 鎌倉 室町 江戸 各時代で活躍した海運)</li> <li>大宰府と奈良・京都 遣唐使船、勘合貿易航路、朝鮮使 廻船航路</li> <li>明治時代以降第2次大戦まで、海軍の造船、軍事基地として発展してきた。現在は？</li> <li>第2次大戦後、日本が高度経済成長期には石油化学コンビナートが発展 (産業・経済的背景)</li> </ul> <p>(3) 地理的要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸部に入り江が多く、浅い海は干拓しやすく広い地形を得やすい。</li> <li>内海であるために、波は穏やかで潮流を利用した航行</li> <li>多くの鉄や造船ドックで使う巨大な機械など原料や材料、機械を運んだり、保管する港が必要</li> </ul> <p>(4) 中国四国地方の産業 (農林水産業、工業) や暮らしとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>瀬戸内地域は離島や沿岸部に暮らす人が多く、食料や生活の糧、工業の原材料や製品の運搬に海上交通を利用している。</li> <li>農産物や畜産などによっては RORO 船を活用するなどによって、地域内や国内の他地域に出荷するにはコスト的にも海上交通を利用する。</li> <li>造船業は様々な工業との関連があるので、瀬戸内地域の雇用や経済活動に影響を及ぼす。<br/>(内航海運)</li> <li>工業においても原材料の運搬 製品の搬出 → 大量・重工品の国内外への運搬</li> </ul> | <p>(2) 瀬戸内海航路の歴史的な変遷と役割を学ばせたい。海上交通の歴史的な発展にとって瀬戸内地域の海運の果たした役割を意識させたい。</p> <p>(3) 瀬戸内地域の地形や瀬戸内海の海洋としての特色から造船工業が発展した要因に気付かせ、考えさせたい。</p> <p>(4) 瀬戸内地域の内航海運の役割から、海上交通の特色やメリットデメリットなどについて考えさせたい。また、造船工業の発展が地域の経済や暮らしに影響を与えることについて考えさせたい。</p> |
| <p>まとめ<br/>20分</p> | <p>○ 発表会 学習課題 どうして瀬戸内地域に造船所が集中して発展してきたのだろうか？<br/>各グループの代表が1つの課題について2分以内で発表する。同じ課題について2つのグループが発表し、各自は発表を参考に自身のワークシートをまとめる。<br/>発表課題 【 Aは (1)、B (1) C (2) D (2) E (3)、F (3) G (4)、H (4)】</p> <p>本時の授業を振り返り、学習課題について、疑問点やもっと知りたいことを確認する</p>   | <p>◆ 発表を聞きながら各自のワークシートを整理させる</p> <p>◆ 発表後はグループ内で再確認させる</p> <p>◆ 時間があれば今治造船のDVD視聴させる2分</p>  |



## 埼玉大学教育学部附属中学校



↑ 導入

↓ グループワーク



↑ 事後協議

↓ グループワーク後の発表



## 埼玉大学教育学部附属中学校

### 【生徒の感想 ①】

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

中国四国地方の瀬戸内の役割や、その造船所、船の役割りが分かった。(4)の他の産業と関係があるの、その辺りももう少し調べたかった。船のつくりや仕組みについて、もう少し学びたいと思った。

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

毎の仕事は鉄板の重いものを運んだり、休けや加工をたったり、辛い仕事だが、農業と同じように高齢化が進んでいると思っていたが、船の設計など、カッコいい仕事もあり、興味がわいた。

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

今まで船台についてあまり考えてなかったけれど、船台は日本と世界が貿易をするための大事な手段だなと感じました。また、初めてくわしいと知ったのでも興味深かったです。

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

造船業はどからかという感じが仕事が多く男の人がやる仕事というイメージが強かったけれど、今人も活躍している感じが良かった。自分が想像していたよりも自分たちの生活の中で造船業は大きな役割をもっている大切な仕事だと感じた。



## 埼玉大学教育学部附属中学校

### 【生徒の感想 ②】

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

地土或ごとに色々な産業があるが日本有数の造船業を学んで  
いることは初めて知りました。よく耳にする工業ではないのですが  
日本の運輸に大きく関わっていて、興味が湧きました。

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

船舶は、日本と外国で貿易の上で、非常に重要な役割を果たしており、99.7%  
外、船舶の貿易は水と空の外に、用余易に船舶を運ぶ。そのため、船舶の貿易は  
船舶の貿易は興味はなかったが、今回は行ったところ、このような仕事をしている船舶の  
仕事に驚かされた。

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

- ・日本は、ほとんど海上輸送を使っているから造船業がたい。日本は海に囲まれていること。
- ・もし造船業がなかったとしたら何の物を運んでいたのか
- ・T-CRAN物を運んでいる船の中はどのような構造になっているのか。

2 本時の授業では造船業から中国・四国地方の瀬戸内地域について学習しましたが、授業に関わって自身が学んだこと、疑問に思ったこと、もっと学びたいことについて書いてください。

船舶の大きさは、飛行機ではなく、船での出荷が、113人もの人を運ぶ  
ことの良い。実際に何個の船を造って、今の船舶の個数はどのくらいある  
のか。他の船舶も運んでいるのか。